

## 令和6年度 学校評価に係るアンケート等の結果のご報告

児童、保護者、教職員を対象に令和6年11月に行った学校評価に係るアンケート等の結果がまとまりましたので、下記のとおりご報告します。

結果や、いただいたご意見を教職員一同で受け止め、今後の教育活動に生かしていきます。

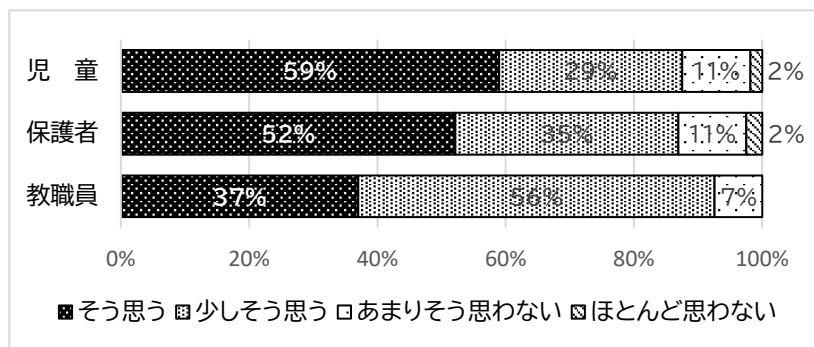
## 記

## 回答の平均値

[4：そう思う 3：少しそう思う 2：あまりそう思わない 1：ほとんど思わない]として算出

児 童 回答数:217		保 護 者 回答数:161		教 職 員 回答数:30	
①学校は楽しいですか。	3.4	①お子さんは、楽しく学校に通っている。	3.4	①子供たちは、楽しく学校に通っている。	3.3
②進んであいさつをしていますか。	3.1	②お子さんは、進んであいさつをしている。	3.1	②子供たちは、進んであいさつをしている。	2.3
③進んで読書をしていますか。	2.6	③お子さんは、進んで読書をしている。	2.6	③子供たちは、進んで読書をしている。	2.8
④学習中、自分の力で考えたり、問題を解いたりしていますか。	3.2	④お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。	2.7	④子供たちは、進んで学習に取り組んでいる。	2.7
⑤学校での学習は、わかりますか。	3.2	⑤お子さんは、学校での学習内容を理解している。	3.0	⑤子供たちは、学校での学習内容を理解している。	2.5
⑥進んで運動をしていますか。	3.2	⑥お子さんは、進んで運動に取り組んでいる。	3.0	⑥子供たちは、進んで運動に取り組んでいる。	3.0
⑦学校のきまりを守っていますか。	3.3	⑦お子さんは、学校のきまりを守っている。	3.3	⑦子供たちは、学校のきまりを守っている。	2.8
⑧友達と仲よく過ごしていますか。	3.6	⑧お子さんは、友達と仲よく過ごしている。	3.4	⑧子供たちの友達どうしの間関係は概ね良好である。	3.0
⑨千城台みらい小の先生たちは、あなたが困っているときに、解決しようとしてくれますか。	3.4	⑨学校は、いじめを早期発見し、早期解決しようと努力している。	2.9	⑨私は、いじめを早期発見し、早期解決しようと努めている。	3.4
⑩先生は、がんばったことを認めてくれますか。	3.5			⑩私は、子供たちの長所を見付け、頑張ったことを認めている。	3.4
		⑩お子さんは、学校の様子を家庭でよく話す。	3.2		
		⑪学校は、便りやホームページで学校の様子を詳しく伝えている。	3.2	⑭私は、保護者との連携に努めている。	3.3
		⑫学校は、子供の健康や安全に配慮している。	3.3	⑬私は、子供の健康や安全に配慮している。	3.5
				⑪私は、わかりやすい授業のための工夫・改善に努めている。	3.2
				⑫私は、子供への個に応じた支援・指導に努めている。	3.4

## 楽しく学校に通っている。

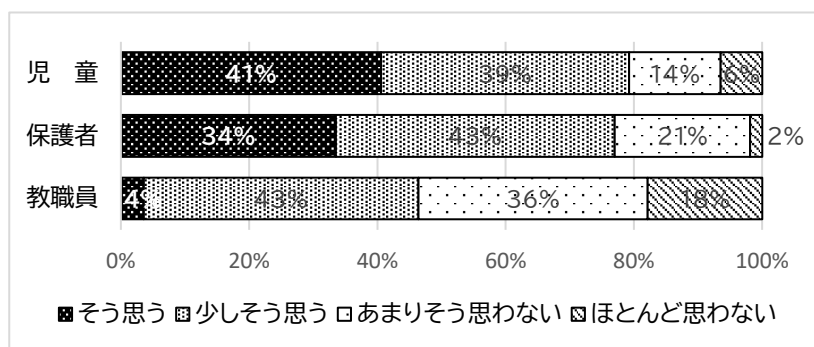


【設問】 児童：① 保護者：① 教職員：①

### 【考察】

児童は、概ね楽しく学校に通えているといえます。消極的な回答は、どの学年にも1割程度ありました。学校では児童に対して毎月「生活アンケート」を実施していて、同様の問いを設けています。児童の気持ちの理解に努め、「楽しくない」理由を解消できるように、支援を続けていきます。

## 進んであいさつをしている。

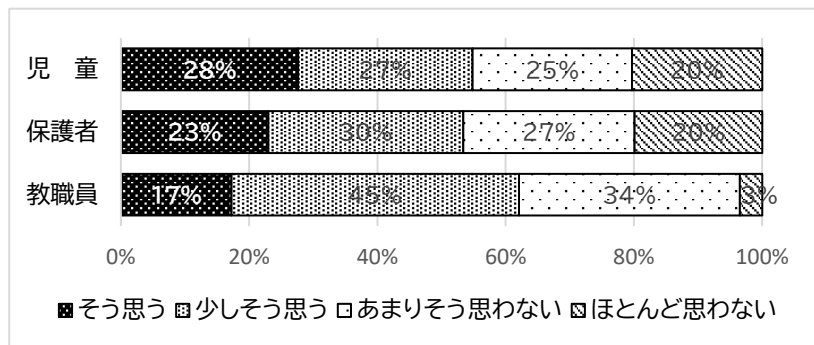


【設問】 児童：② 保護者：② 教職員：②

### 【考察】

児童・保護者と教職員で、認識の違いが大きくなりました。児童の多くは概ね「できている」と捉えているようですが、教職員はまだ十分とはいえないと感じています。「あいさつ」は、本校が重点を置いて指導している事柄です。普段の自分のあいさつの様子を振り返らせながら、引き続き指導していきます。

## 進んで読書をしている。

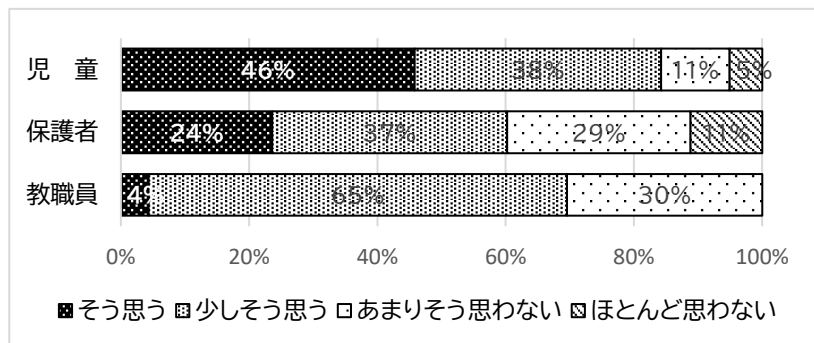


【設問】 児童：③ 保護者：③ 教職員：③

### 【考察】

児童・保護者・教職員のいずれの評価も低くなりました。学校では、図書室の利用可能日を増やしたり、児童の希望をもとに書籍を購入したりして本に興味をもてるようにしてきました。今後も、本を読んでみようという気持ちが高まるような取り組みを続けていきます。

## 進んで学習に取り組んでいる。

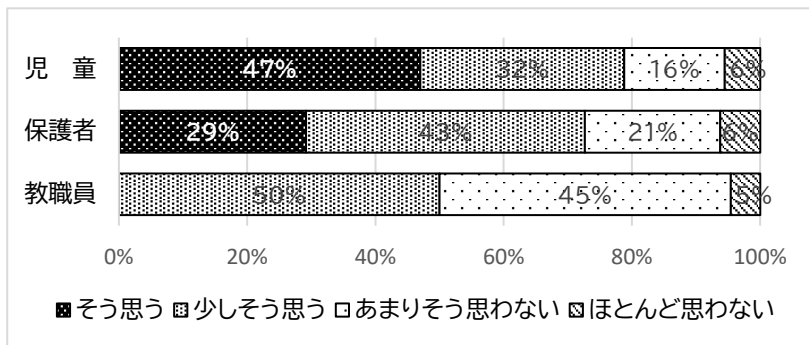


【設問】 児童：④ 保護者：④ 教職員：④

### 【考察】

児童と保護者・教職員で、設問が異なります。児童と大人で、認識の違いが大きくなりました。保護者の方は、家庭で机に向かう姿勢にさらなる努力を求めているようです。学校では、課題解決の糸口を示すことで、諦めずに自分の力で考えようとする意欲がもてるように指導を続けています。

## 学校での学習内容を理解している。

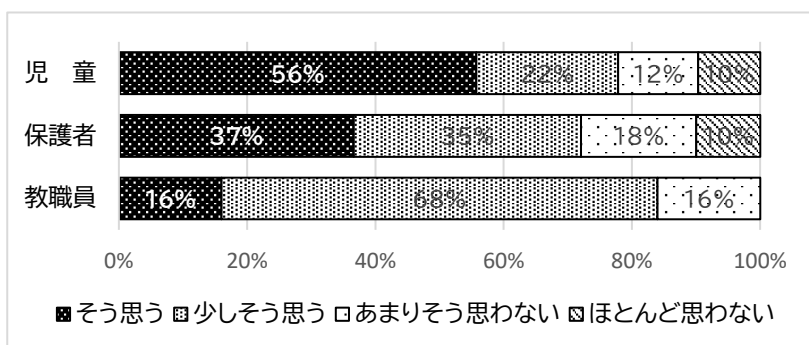


【設問】 児童：⑤ 保護者：⑤ 教職員：⑤

### 【考察】

児童・保護者と教職員で、認識の違いが大きくなりました。児童は、授業が「わかる」と感じているようです。学年によって、理数教育サポーターが理科の学習を支援したり、算数の授業を少人数のグループで行ったりして、学習内容の理解が深まるように継続して取り組んでいきます。

## 進んで運動に取り組んでいる。

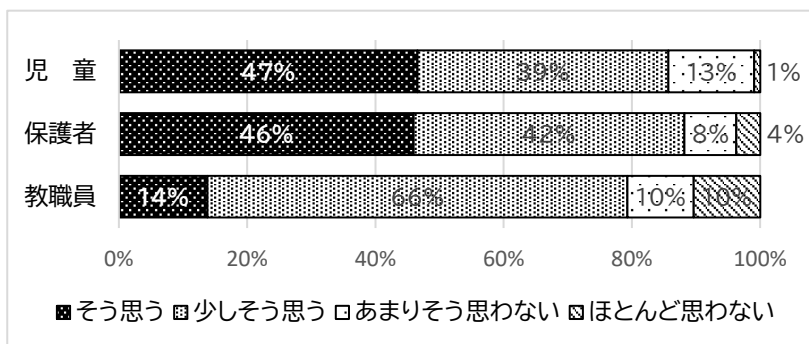


【設問】 児童：⑥ 保護者：⑥ 教職員：⑥

### 【考察】

1～4年生の児童は8割以上が肯定的な回答をしているのに対し、5・6年生は6割台でした。高学年になると好みが多様化し、屋内で過ごすことを好む児童もいます。学校では、体育の学習などを通して運動の楽しさを味わえるように工夫していきます。

## 学校のきまりを守っている。

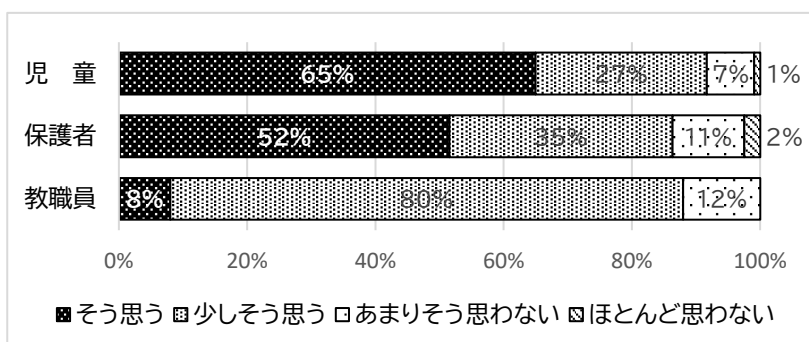


【設問】 児童：⑦ 保護者：⑦ 教職員：⑦

### 【考察】

児童は、概ねきまりを守れているようです。教職員は、「少しそう思う」の割合が大きく、課題意識をもってることがうかがえます。なぜきまりを守る必要があるのかを考えさせながら、みんなが安全に安心して過ごせるような学級・学校をつくっていかうとする意識を高めていきます。

## 友達と仲よく過ごしている。

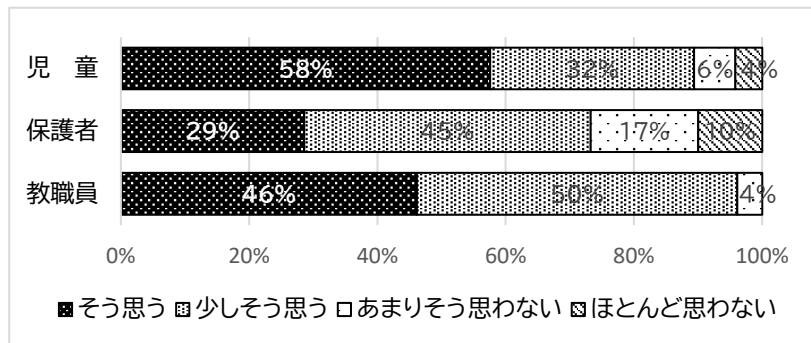


【設問】 児童：⑧ 保護者：⑧ 教職員：⑧

### 【考察】

児童・保護者・教職員のいずれでも昨年度より評価が高くなりました。教職員は設問が異なります。親しい友人とのやり取りだけではなく広い視野で児童の友達への接し方を見てみると、課題も感じています。友達関係において、「違い」を認め、折り合いをつけながら上手に関わっていくように支援していきます。

## 学校は、いじめを早期発見し、早期解決しようと努力している。

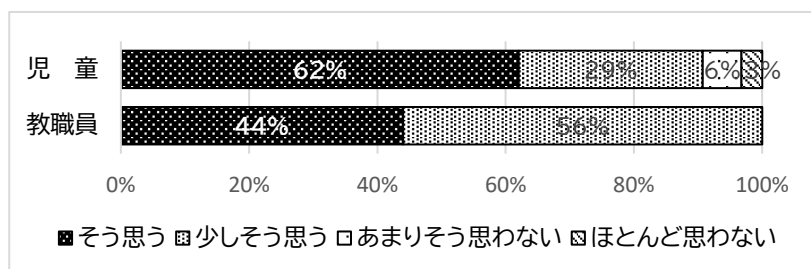


【設問】児童：⑨ 保護者：⑨ 教職員：⑨

### 【考察】

学校では毎月「生活アンケート」を実施して、直接伝えづらいことも相談しやすいようにしています。保護者は、肯定的な回答が5割にとどまる学年もありました。友達関係の改善に時間を要したことや、問題の再発を完全には防げていないことが、評価を下げているのかもしれませんが、これからも問題に対して迅速に、粘り強く対応していきます。

## 先生は、頑張ったことを認めてくれる。

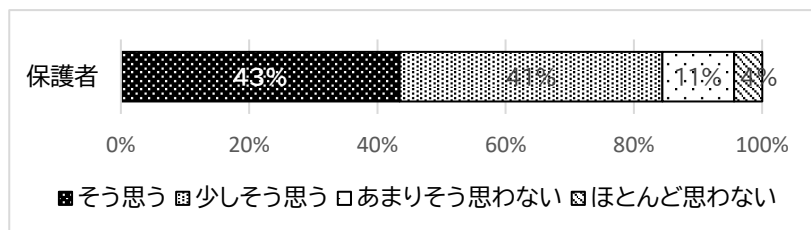


【設問】児童：⑩ 教職員：⑩

### 【考察】

児童は、肯定的な回答がいずれの学年でも9割前後に達しました。引き続き、取り組んだ「結果」だけではなく、その過程にも目を向け、努力した点や成長したところを認め、ほめて、自信や次への意欲をもてるようにしていきます。

## 学校の様子を家庭でよく話す。

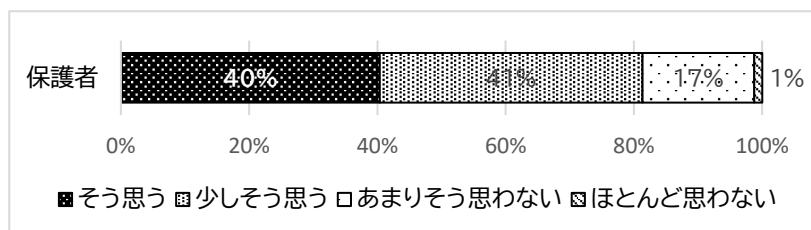


【設問】保護者：⑩

### 【考察】

高学年になると、学校の様子を家庭であまり話さない児童が多くなる傾向があるようです。懇談会や個人面談などで、学校での様子を詳しくお伝えするようにしていきます。

## 学校は、便りやホームページで学校の様子を詳しく伝えている。

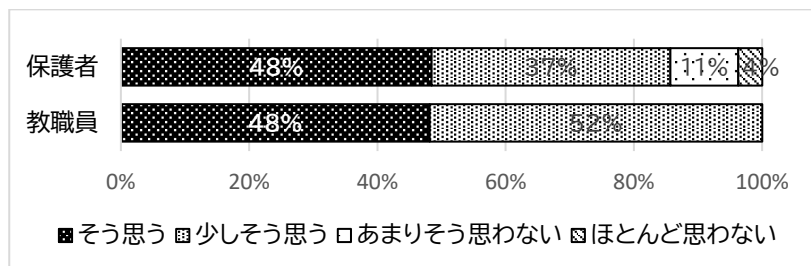


【設問】保護者：⑪

### 【考察】

「学校だより」や「学年だより」を通して、お知らせや連絡だけではなく、児童の活動の様子や、教育活動のねらいなど学校の考えもお伝えできるように心がけていきます。

## 学校は、子供の健康や安全に配慮している。



【設問】保護者：⑫ 教職員：⑬

### 【考察】

児童の安全・安心は、何よりも優先されるべきものと考えています。けがや事故の防止とともに、それらが起きた際にも迅速な対応で健康や安全が守れるように努めていきます。